



議会だより

あまがさき

令和5年
12月定例会

令和6年2月25日
第130号



目次

- 天城町議会議長新年のご挨拶 P 2
- 12月補正予算（第3号） P 2～4
- 12月補正予算（第4号） P 5
- 一般質問 P 6～13
- 令和5年度 総務文教厚生常任委員会 所管事務調査 P14～15
- 令和5年度 徳之島三カ町議会議員大会 P16
- 【令和5年12月議会】提案された議案等の議決結果 P17
- 令和5年 町民と議会と語る会・編集後記 P18

表紙 / 天城保育所の子どもたち

対策の強化



動画はコチラ
24:25～

876万8千円に～

公営住宅建設事業費

5,200万円



那須C団地の外構工事費の増・基礎工事の増・経費の計算式の変更等

空港バイパス線 改築事業費

2,500万円



空港バイパス線の入り口の変更、ガードパイプ・舗装・法面の幅の拡幅等

補正予算の主な質疑

問 畜産経済安定対策補助の対象牛となる競り名簿に記載されている欠場牛の取り扱いが懸念される。

答 チエック体制を整える。(令和5年4月～9月分を前区分として定例会終了後に畜産農家の皆様へ、助成申請案内を発送し年明けには振り込みができるように用意している)

天城町議会議長 新年のご挨拶



天城町議会議長
上岡 義茂 議長

あけましておめでとうございます。町民の皆さま方には、令和6年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお願い申し上げます。また、日頃から町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え、天城町のさらなる発展のために、議会も引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしているところです。さて、昨年を振り返りますと10月8日に「燃ゆる感動がごしま国体」トライアスロン競技も盛会のうちに終了しました。大会運営を支えられたボランティアスタッフをはじめ多くの関係団体や関係者に感謝いたします。

本町においても、少子高齢化対策や人口減少が大きな課題となっており、今日、地方創生が強く叫ばれている中、子育て支援の充実や、農業の担い手づくり、防災対策、教育施設整備など、数多くの課題を抱えており、天城町議会といたしましても、これらの課題解決に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、町民の皆様方にとって輝かしい良き一年となりますよう、ご祈念申し上げます。私も議会といたしましても町民の声を真摯に受け止め、さまざまな町政の課題解決に向けて全力を尽くし邁進していく所存でございますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。新年のご挨拶と致します。

12月
補正予算
(第3号)
全会一致で可決



天城町の畜産経営安定

～1億4千305万円を追加し総額75億

天城町畜産経済安定対策事業補助

3,000万円



令和5年4月～令和6年3月までの競り名簿に載っている牛
1頭につき1万円の助成を行う

住宅等ストック総合 改善事業費

1,000万円



塩満団地2棟8戸の修繕・
増築工事

産後ケア事業委託

25万円



出産後の授乳トラブルや母子の体調管理
等をサポートし、訪問型・デイケア型（1
日または半日）があります。

★詳しくは子育て支援包括センター
（85-4113）まで。

問 空港バイパス線の工事費の増額の理由と内容は。

答 空港ループ道から空港岡前線につなぐ接続部の位置の安全面を考慮し変更に伴う設計変更が生じた分（歩道の法面の幅員を増幅等）。

問 町営住宅建設事業費の5200万円の内訳は。

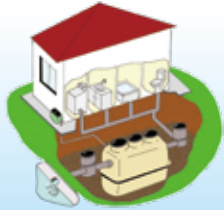
答 同等の外構工事額で当初予算を組んだが、ボーリング調査で軟弱地盤の基礎工事の材料費1000万追加・工事の費用の計算式が3月に変更したことで経費増が1000万・法面工事と外構ブロック積み等で2200万を追加。

問 住宅等ストック総合改善事業の1000万円の内訳は。

答 塩満団地南側2棟8戸の改修工事に防水工事・増設工事・その他の補修工事費用。

合併処理浄化槽 設置補助

-2,199万2千円



設置補助申請申請が、当初の見込みより少なかったために
予算執行の残額

自主的学び応援事業 助成金

-88万8千円



島外の塾の夏期スクーリング
参加に対する助成で予算執行
の残額

UI ターン起業家支援 補助金

50万円



対象経費の2分の1以内とし、
50万円を限度に補助

ユイの里テレビ運営 管理費（需用費）

201万円



台風6号・老朽化によるケー
ブルの破損等の修繕

問 自主的学び応援事業の対
象のスクーリングを夏期のみ
ならず、春休みや冬休みもで
きないか。

答 島外でスクーリングを受
講するのであれば宿泊につい
ても視野に入れる必要がある
のではと考えている。あわせ
て検討する。

問 合併浄化槽設置補助申請
促進のためにも事務手続きの
簡素化を検討できないか。

答 補助事業の周知を徹底
し、年度初めに申請を促し件
数を増やすよう努める。

（追加補正4号に係る条例制
定）

問 山田氏の思いに沿った予
算執行の為にもしっかりと具体
的な条項を付すべきでは。

答 条例を作成し山田氏にも
見ていただき承諾を得たが、
条例の文言が抽象的で拡大解
釈されないよう規則で細かな
ところを定めていく。

山田長満世界に 羽ばたく岡小っ子の翼基金

5,000 万円



山田氏の母校の子ども達の英語教育等の充実を図ることを希望されご寄付をいただいた



12月

補正予算(第4号)

全会一致で可決



動画はコチラ
1:49:14~

山田長満世界に 飛び立つ北中の翼基金

5,000 万円



山田氏の母校の子ども達の英語教育等の充実を図ることを希望されご寄付をいただいた

山田長満天城町 公衆用道路整理基金

5,000 万円



町内における未登記の集落内道路の整備を希望されご寄付をいただいた

◆令和5年度 一般会計・特別会計（補正予算）

会計名	補正予算額
一般会計補正予算（第3号）	1億4305万円
一般会計補正予算（第4号）	2億4925万6千円
天城町国民健康保険事業特別会計	7611万8千円
天城町介護保険事業特別会計	135万8千円
天城町徳之島ダム小水力発電特別会計	0円
水道事業会計補正予算	96万5千円

問 海洋センタープールの改修は

答 令和7年に温水化決定



松山小百合 議員

動画は [コチラ](#)
23:23 ~



(問) 海洋センタープール改修事業内容はどうか。せっかく温水化するのであれば、町営のスイミングスクールの運営について、自走できる施設運営について検討し

(答) 海洋センタープールについては、青少年の健全育成・高齢者の転倒防止など夏場に限らず1年を通して、町民の皆様様の健康増進に寄与すべき施設にするため、温水化、屋体の改修を令和6年の秋頃から工事着手、令和7年度に改修完了の予定。町営のスイミングスクールの運営も今後検討する。

(問) 町の計画で女性管理職の数値目標を掲げているが、達成の為に具体策と現在の役場職員(正職・会計年度任用職員)の男女比率について問題提起を行った。

(答) 女性職員のモチベーション持続のために研修会等を実施し、職員採用試験では男女関係無く採用基準を設けている。近年、女性職員採用率が上がっている。

(問) おかえりなさい住宅補助事業・空家改修補助事業の更なる活用にむけて、

(答) 助成の事務の簡素化も含めて、今ある事業を活用していただけるよう工夫していきたい。



天城町 B&G海洋センター

問 兼久地区の畑総事業の進捗状況は

答 令和7年度計画策定・国へ申請



喜入伊佐男 議員

動画は [コチラ](#)
9:09 ~



(問) 兼久地区における畑地帯総合整備事業の進捗率及び令和6年度以降の計画についてどのようになっているのか。

(答) 事業採択に向けて地権者調査を実施しており、全体受益面積約80ha、受益者数218名、その内、生存者が74名。残り144名が、死亡も含めた要調査人数となっている。事業採択に向けて、144名の相続人を調査し、説明会及び同意徴収を行い、令和7年度には事業計画を策定し国へ申請する。

(問) 兼久昆目小組合における狭隘道路整備事業の進捗率及び令和6年度以降の着工見通しはどのようになっているか。

(答) 地権者に対する同意取得の手順についてどのようになっているか。

(答) 用地測量と拡幅の路線計画を終了している。用地取得に進展があり、令和6年度に用地購入及び工事を計画していく。

(問) 兼久文園千間海岸入口における兼久文園南小組合の生活排水路布設工事について住宅地側への工事延長はできないか。又、現在使用している道路を町道化できないか。

(答) 排水路を事業で設置するには、その場所が町の所有であることが条件。当該道路は個人所有のため、布設工事の計画はない。私道を町へ譲渡する必要があり、町の所有とした後、町道に認定すること、その後事業計画が出来る。

問 住宅新築世帯への助成は

答 今後、検討していきたい

ている状況にある。本町においても住宅不足は課題のひとつとなっている。新築住宅への助成について今後、検討していく。

(問) 本町において移動手段のタクシー運転代行業務は現在運行されておりません。町民サービス向上の観点からも誘致又は開業に向けた支援策は検討できないか。

(答) 本町は双方とも事業者がいらない状況である。飲食業や観光業を含め、町民の移動手段の確保は地

域経済の活性化に必須条件であると認識している。商工会をはじめ関係機関と今後検討していきたい。

(問) 平土野市街地の固定資産税の見直しはいつ行うのか。又、現状を踏まえ大胆な見直しは出来ないのか。

(答) 固定資産税については、3年について、評価替えとして見直しを行っていく。次回の見直しは令和6年度課税分からとなる。評価にあたっては、固定資産評価基準によって、均衡のとれた適正な評価を行う。

糞を有効活用できないのか。

(答) 資材高騰が続く中、飼料・肥料の自給は大変重要になってまいりました。牛糞については、重要な資源と捉えている。畜産農家の皆さんの中には、自給肥料と

して活用している方も大勢いらっしゃると思いますが、未活用の牛糞についてもその全てが有効活用されるよう、関係機関や部会等と連携し、より効率的な耕畜連携を構築していく。



柏井 洋一 議員

動画はコチラ
48:20～



(問) 本町は農業立町であり、さとうきびや畜産、園芸(馬鈴薯)で成り立っているが、特に畜産農家から排出される牛



平土野市街地



議員 大 吉 皓 一 郎

動画はコチラ
8:25 ~



問 自衛隊誘致の取り組みは

答 積極的に進めていく

(問) 自衛隊誘致の取り組みと今後の対策について。

(答) 今年2月には

天城町自衛隊誘致協議会において陸上自衛隊奄美駐屯地と瀬戸内分屯地を視察し、周辺住民との意見交換も実施した。陸上自衛隊第8音楽隊の島しょ演奏会や統合演習、各種活動への協力、連携体制を維持している。住民の安心・安全確保

や防災、地域活性化の観点から自衛隊誘致活動を積極的に進めていく。

(問) 海上保安庁巡視船「あまぎ」の平土野港寄港の要請はできないか。

(答) 海上保安庁巡視船「あまぎ」(全長89・4m・幅11m・

総トン数1,300トン、平成25年12月に奄美へ配属)は尖閣諸島をはじめ、南西諸島の警備力強化

の為に配備されヘリコプター離着機能や他の船への燃料補給機能を備え、領海警備や大災害時の役割を担っている。今年3回寄港し、町内の救急患者の搬送実績もある。樟南第二高等学校の生徒を対象に船内の見学・交流会が行われた。海上保安庁と連携を図るとともにイベント等の開催で交流を深めていく。

(問) 令和5年度新規採択の通作条件整備兼久瀬滝地区の事業実施について。

(答) 令和4年12月に採択申請、令和5年2月に採択された。

今年度は、計画路線の測量及び設計、令和6年度以降改良工事を順次実施し、令和9年度完了

の予定。全体事業量は、兼久地区が6路線、総延長2,880m。1号農道長さ1,100m・2号農道長さ420m・3号農道長さ330m・4号農道長さ760m・5号農道長さ310m・6号農道長さ420m。瀬滝地区が6路線、総延長4,600mである。

お願いや、不明所有者の追跡など出来ることから進めていく。宇和良治2号線の路面状況については把握している。路面性状調査に基づき国庫補助事業の舗装修繕事業で路面状況の改善を計画していく。

(問) 観光地犬の門蓋・高釣の整備と町内海岸線数ヶ所に

「東屋」の建設はできないか。
(答) 犬の門蓋の環境整備、安全対策の面から遊歩道の伐採を行う。高釣についても同様平土野地区を一望でき、その周辺の整備についても検討する。町内海岸線数ヶ所の「東屋」の建設についても検討していく。

(答) 老朽化が進んでいる箇所が数ヶ所あるので、設計し新年度の集落環境整備事業で早期に発注して修繕を計画する。
(問) 尻田線の進捗状況と宇和良治2号線の拡幅はできないか。
(答) 筆界未定地地権者への筆界確定の



巡視船「あまぎ」



島 和也議員

動画はコチラ
8:00～



問 平土野港船溜りにグラスボートを

答 ニーズの動向を踏まえ検討

(問) 平土野港船溜りに観光遊覧船(グラスボート)を整備出来ないか。

(答) 世界自然遺産登録により、徳之島の認知度も高まり観光入込客の増加が期待される。多様化する観光ニーズの動向を踏まえ、更なる地域資源の磨き上げ、それに伴う観光整備に取り組んでいく。観光遊覧船の整備については活用できる補助事業等の導入、運営のあり方なども含め、検討していく。

(問) 徳之島地区介護保険組合のデータでは介護保険申請が他の2町に比べ非常に少ないがこの理由は。

(答) 介護申請は、(本人・家族・病院)からの相談に対し、地域包括支援センターにおいて、本人の日常生活状態の確認を行い、介護保険組合に介護申請し審査会において判定する。令和4年度の65歳以上高齢者人口及び申請者数は、徳之島町3,431人(563人) 16.4% 伊仙町2,388人(504人) 21.1% 天城町2,105人(328人) 15.6%となっている。今後は職員とのミーティングを行い、窓口受付にてより良い住民サービスに努め、介護予防で

は健康づくりを目的として、ゆいゆいサロン・彩りサロン等に取り組んでいる。

(問) 当部集落へクロウサギの治療施設と観覧施設を環境省へ建設要望出来ないか。

(答) アマミノクロウサギの治療及び観覧施設につきましては、奄美大島において、現在大和村が主体となり、交通事故等で負傷したクロウサギのリハビリを行ういながら展示を行う施設の整備が進められている。徳之島においても、負傷個体の発生状況等を踏まえたうえで、治療施設の必要性について環境省と意見交換を行う。当部集落においては、近年クロウサギ観察を目的とした来訪者が増加傾向

にある。今後はクロウサギに配慮した観察の在り方についても検討していく。

(問) 島の文化である方言の活用が薄れているがその傳承は出来ないか。

(答) 本町においては、学校現場において集落の先輩方を講師とした方言傳承活動や島唄に取り組ん

でおり、学校によっては方言での音読放送にも取り組んでいます。しかしながら、日常生活では大人も含めて方言を使わない・使えないという現状があるので

学校教育・社会教育のみならず、町全体で方言の傳承ができればという取り組みがほしい。



アマミノクロウサギ



平岡 寛次議員

動画はコチラ
1:44:57 ~



問 給食センター建設の進捗状況は

答 令和8年度から新施設にて運用

(問) 給食センター建設の進捗状況について。

(答) 天城町学校給食センター建設検討委員会を設置し検討を重ねてきた。現在、令和6・7年度の2ヶ年計画で学校施設環境改善交付金を要望しており、今年度は用地取得・地質調査・測量設計、令和6年度に実施設計・建築着工、令和7年度末に竣工、令

和8年度当初から新センターでの運用を計画している。

(問) 地方創生とデジタル化推進について。

(答) 9月30日に天城町デジタルの日を開催。町内小学校、中学校の児童生徒参加のデジタルコンテストやAR、VR体験など来場者に喜ばれる催しとなった。今後も継続的にイベントを開催していく。また、今年度は

コンビニ交付と見守りカメラを「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用して環境整備を行っている。コンビニ交付は、マイナンバーカードを利用して、住民票の写しなど各種証明書が全国のコンビニエンスストアなどに設置されているマルチコピー機で取得でき、本町も10月1日からサービス提供を開始している。見守りカメラについては町内各エリアに順次整備していく。

(問) 有機農業の推進について。

(答) 有機農産物へのニーズは高まる一方である。有機栽培の実施は大きな付加価値になるものと考え、っており生産者の皆さんと連携を取り、補

助事業等を活用しながら、推進していく。

(問) ペレット堆肥の製品化について。

(答) 堆肥のペレット化については堆肥の利用拡大において、今後取り組むべき課題であり堆肥の高品質化やペレット化については堆肥センターを運営しているJA天城事業本部と協議を進める。

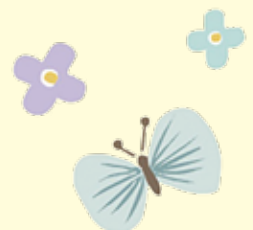
(問) 農業生産額と所得向上への取り組みについて。

(答) 令和3年に第3次天城町農業ビジョンを策定し、農業生産額45億を目標に各種施策を実施している。令和4年は、子牛価格の低迷や、突風・寒波によるバレイショ出荷量の低下などにより、41億5千万円に留

まっている。資材高騰や子牛価格の低迷は続いているが、単収向上と生産コストの低減をさらに推し進め、農家所得の向上と農業生産額45億円を目指していく。



天城町立学校給食センター





奥 好生 議員

動画はコチラ
10:08 ~



問 あまぎ自然と伝統文化体験館建設の進捗状況は

答 R 5 躯体工事、R 6 屋根工事、R 7 内装・仕上げ工事

(問) あまぎ自然と伝統文化体験館建設の進捗状況について。

(答) 令和5年度予算で2階躯体工事、令和6年度には屋根工事、令和7年度には内装・仕上げ工事を計画し、町民の皆様喜んでもらえる施設の完成を目指していく。

(問) 道路運送車両法で定められた車検証の住所変更について。

(答) 自動車の所有者は、登録されている所有者の氏名、住

所、使用の本拠の位置などに変更があったときは、その事由があった日から15日以内

に、変更登録の申請をしなければならぬとされている。例外もあり、オンラインサービスを使った自動車の変更登録申請を行った場合は、新しいナンバープレートの交換を次の車検の時まで猶予されるなどがある。

(問) 戦没者追悼式・教育文化の町推進大会・農業祭・金婚式等について。

(答) 案内文の発送事務や会場設営の不備、広報不足、参加者への配慮不足など反省すべき点もあった。今後、各種行事の運営に対して不備がないか細心の注意

を払っていく。

(問) 農業振興地域整備計画の見直しについて。

(答) 昭和44年に「農業振興地域の整備に関する法律」が制定され、昭和48年3月に天城農業振興地域整備計画書が作成された。この計画はおおむね10年先を見据えて、市町村が定める公的な計画です。しかしながら、この計画が策定されてから永きにわたり、全体的な見直しが行われていなかった。そこで、令和2年度から4年度の3年かけ、全体的な見直しを行い、天城町農業振興地域整備計画書を策定した。

(問) 居住者ニーズに対応した住宅計画について。

(答) 住宅入居待機者の申込希望地区状況をみてみますと、中央地区よりも北部・南部地区の需要の高さが視える。町内全域のバランスを考慮しながら、住宅不足解消のために、住宅用地(敷地)の確保と併に、新規建設も視野に入れて柔軟に対応し、住宅整備を推進したいと考えている。

(問) アマミノクロウサギ生息地周辺の保全対策について。

(答) 環境省をはじめ関係機関が連携し、ロードキル対策やノネコ対策等に取り組んでおり、近年は生息分布域が拡大傾向にある。アマミノクロウサギの主な生息地となる国立公園区域内において

は、自然公園法に基づき、開発行為には国もしくは県の許可が必要。引き続き、関係機関と連携し、アマミノクロウサギ生息地の保全に努めていく。

(問) 置き勉(置き勉強道具)の実態と宿題について。

(答) 学習用具等の学校への保管いわゆる置き勉の状況ですが、小学校では、国語と算数の教科書やノート等以外の物については学校での保管が許可されている。中学校については、国語・社会・数学・理科・英語の5教科に関連する物以外については学校での保管が許可されている。宿題等の家庭学習については、小学校では60分、中学

校では90分の目標を達成できるように取り組ませている。

(問) 徳之島高校通学費助成について。

(答) 徳之島高校通学費助成につきま

しては、天城町内より通学する生徒

の、バス定期券又は回数券の購入費を

全額補助している。しかしながら、令

和2年度、令和4年度に各2件ずつ。

令和3年度、令和5年度につきまし

ては、実績がない。

(問) 学習塾夏季スクーリングについて。

(答) 「自主的学び応援事業」として昨年

度は1名、今年度は2名の生徒が活用。

島外に親族などがある生徒でないと活用

が難しい等の問題点

も残っている。多くの生徒が参加できるように今後の方向性を検討している。

(問) 西阿木名中学校校舎建替えについて。

(答) 9月議会での議員からの質問や総務文教厚生常任委員

会の学校訪問時のご意見等を踏まえ、関係する方々の参加による建設検討委員会

を年度内に設立し、具体化に向けて進めていく。

(問) 奨学資金貸与条例規則について。

(答) 3月議会で議員より、育英奨学資金貸与条例施行規則の申請締め切りが実際に設定した期日と

食い違っているとの指摘があった。今年度は規則に従って、進めていく。



あまぎ自然と伝統文化体験館完成イメージ図



議員 辰二 柏木

動画はコチラ
8:57～



問 正当な職員採用はなされているか

答 規則に基づき実施

利きを受けた事はなく、選挙功労採用はない。

(問) 町長は行政が町民と真摯に向き合

い信頼関係を築いていく為に何が必要だと考えているのか。

(答) 信頼関係構築のための前提として、町民の意思を反映した行政運営を行うため、「むーるし語ろう会」などによる町民との対話を通じて

集落や個々の意見・提案やニーズを的確に把握し、町政にか

かわる情報を共有することが大切であると

考えている。

(問) 年代別・職種別等による懇談会を行う考えはないか。

(答) 以前からそのような事も必要だと考えていたので計画

していきたい。

(問) 採用試験は、天城町職員の任用に

関する規則に基づき、実施している。

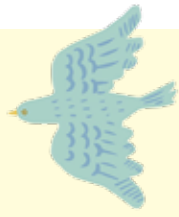
一次試験は、市町村職員統一採用試験の

結果を踏まえて、職員採用を行っている。過去に議員の口

(問) 以前から職員採用に 関係し多くの町民から世襲・議員の口利き・選挙功労採用が行われているのではないかという疑念の声があるが、正当な採用はなされているのか。

結果を受け、外部から委嘱した3名の委員による審査会を開催し、得点順に従い必要と認められる数の合格者を決定している。二次試験では、作文試験と今年度は役場内1名と、外部から招聘した2名による面接試験を実施している。その結果を踏まえて、職員採用を行っている。過去に議員の口

利きを受けた事はなく、選挙功労採用はない。



(問) 防災センター工事における交付金返納事件の裁判経過はどうなっているのか。

(答) 9月定例会以降、9月27日に第9回公判、10月25日に第10回公判が鹿児島地裁で行われた。次回第11回公判は、12月20日に行われる予定である。現在、事故繰越が争点になっている。



久田 高志 議員

動画はコチラ
1:26:10 ~



問 部活動地域移行への取り組みは

答 週2回程度の指導を開始

(問) 部活動地域移行への取り組み、課題(施設環境整備、小学校、高校)等はどのようになっているか。

(答) 中学校部活動地域移行については、本年度2学期よりこれまでの外部指導者を部活動指導員として依頼し、週2回程度の指導を開始している。課題として北中学校の夜間照明等は今後検討して行く。小学校スポーツ少年団や高校等への取り組みについては国、県、近隣市町

村から情報収集をしながら前向きに検討したい。

(問) 生産資材等価格高騰、畜産価格暴落に対する農家支援策はどのようになっているか。

(答) 生産資材の価格高騰や子牛価格の低迷が農家経営を著しく圧迫している。肥料価格高騰対策事業や肉用子牛生産者補給金制度等が実施されている。町においては土壌改良資材や堆肥への助成を実施している。また長期化している子牛価格低迷の状況を踏まえ、その影響を軽減すべくセリ出荷の子牛1頭あたり10,000円の助成を実施する。今後

も関係機関と連携

を図り農家への支援に努めていく。

(問) 畑かん施設の整備状況と今後の事業計画、課題等はどのようになっているか。

(答) 畑かん施設整備状況は全体受益面積2967haの内、令和4年度までの実施面積431.47ha、実施率34.4%です。第2浅間地区、第1大和城地区が完了地区となっている。

今後の事業計画は区画整理事業として西阿木名地区、兼久地区を計画して行く畑かん施設整備の課題としては、農家希望の施工時期と、施工業者の施工時期が、かみ合っていない等の課題があるので関係機関と連携を図り改善して行く。

(問) 高齢者が安心して暮らせる住宅シルバーハウジング建設への取り組みはどのようになっているか。

(答) これまで、シルバーハウジング導入自治体へのヒアリングや現地視察、関係課や福祉機関で集まり勉強会を行い検討しているが、デメリット部分がクロージアアップされてきている。町としてはシルバーハウジングと同等程度、天城町版の高齢者が安心して暮らせる住宅建設構想を展開したいと考えている。





視察年月日：令和5年8月24日（木）～28日（月）

視察者：吉村元光委員長・平岡寛次副委員長・上岡義茂委員・

平山栄助委員・昇健児委員・奥好生委員・島和也委員
（随行者：柚木洋佐事務局長）

所管事務調査：秋田県東成瀬村役場「児童・生徒の学力向上対策、取り組みの把握（学校・家庭・地域）について・八景島シーパラダイス「天城町ブース視察」・関東天城町会総会及び懇親会

【視察内容8月25日】

東成瀬村は、国勢調査による昭和22年の人口が6,220人から現在（令和5年4月1日）は2,370人に減少していることから人口減少と高齢化が村の大きな課題となっていること。また、平成15年の市町村合併においては自立の道を選択、そして、児童・生徒の学力は、現在は全国で上位にランクされるが数十年前までは最下位近くに甘んじていた時代もあったことから県と市町村が連携し学力向上対策に重点的に取り組んだ歴史が明らかされる。引き続きTV画面を活用した学校教育概況の説明で、教育振興基本計画については、

【郷土の発展を担う気概あふれる人材の育成】を基本理念に「令和の日本型学校教育」の構築を目標に、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り「二人一人の学習を成り立たせるためのもの」（全ての子供を学校教育の外に置かないということ）を基本としている。

次に、東成瀬村には、東成瀬村小学校（児童72人、教職員17人）、東成瀬村中学校（生徒56人、教職員19人）が各1校有る、教職員は組織的な研修を行っている（1.示範授業：人事異動による転入教員を対象に先輩教員による探究型授業が毎年4月に実施、2.校内の共同研修：年一人

1回の研究授業、全員参加の指導案検討会、教員同士による模擬授業、オープン授業参観、3.小中学校合同授業研究会：大学教授等の外部指導者を招聘して行う、4.個に応じた指導推進委員会：校長、教頭、教務主任、研究主任、教育長から構成され、1年間の総括を行い「翌年度への提言」をまとめ、次年度の指導方針に反映させる。）

次に、学力向上を目指す取り組みとして、小中連携教育を推進している。その一つの「小中連携授業研究会」では課題についての外部指導者から指導、助言を基にグループ協議や小中合同チームで事前検討会を実施することで教員の年間を通じた研修を実施し教師のコーディネート力を高め授業改善を図っている。これは従来の一斉教え込み型授業から児童生徒が能動的にかかわる「探究型授業」に転換すること、自ら学ぶ意欲を喚起するとともに「授業から家庭学習（自主学習）」へ連動することに繋がっている。



次に、学力向上を目指す「粋を超えた」取組として「個に応じた指導の充実」、一人一人の学びの履歴を踏まえたきめ細かな指導を実施している。「数学科におけるTTT、少人数学習指導★単元末におけるコース別学習の展開★数学自学ノートの実践（1、2年毎日）★昼休み、放課後等の個別指導の実施」「英語科におけるALITとTTT（月、水、金）★実践的なコミュニケーション能力の育成★ペアやグループなど多様な学習形態の設定★英語を学ぶ環境整備」。指導については各種学力調査等进行分析・活用し、個人差が出やすい算数、数学、英語ではほぼ毎時間チームティーチングを行っている、このため中学校には臨時講師、

小中に英語のALITを村が単独で任用している。次に、特色ある教育活動のひとつとして「家庭学習（自主学習）ノート」の掲示と展示が挙げられる、家庭学習は、宿題型ではなく自主学習型である。学習する内容は教科に限定されず、学習方法もすべて自分で決めて取り組むものである。その際に使ったノートは、学校の廊下や階段、小ホールに展示され、小学校のひとつ上の学年の児童がコメントやアドバイスを習慣的に寄せる「これは教員だけでなく、他者がかかわり意欲を引き出す学びあいの機会があちこちにある」と、教育視察者からの評価」の声も高い。

次に、その他活動として、「村営の塾」がある、東成瀬村には塾がないため村営の地域学習教室（塾）が平成20年から行われている、会場、講師、経費などは村が負担、教育委員会が運営。また、（朝読書）の習慣づけをはじめ、児童生徒への「読書活動」が大切にされている、村のことも1人当たりの年間図書費は6,000円であり、全国平均（約1,400円）を上回る。全学級に全国紙、地方紙も配架されている。また、東成瀬村では、小学校1年生から中学3年生までの異年齢集団でキバナコスモスの植栽活動を行う、地域住民も加わり多様な感じ方・考え方に触れることで（協力する心）（優しい心）（育てる心）に重点をおいて豊かな人間性や社会性を育成する。次に、子供達へ「ふるさと先生」による講和や実技指導をすることで東成瀬村の自然、歴史文化を見つめ、生まれ育った郷里を思う気持ちを醸成する活動があります。「ふるさと先生」とはジャンルは不問、国内外で活躍する村出身者の数十人で構成している。次に、社会総参加の教育の一つとして村には、毎年200人以上の方が教育ボランティアとして登録し子どもたち一人一人の個性を伸ばす手助けを行う。次に、「グローバル（夢）ミートイング」活動については、村内の小学6年生と中学3年生が、秋田大学の留学生と交流する英語合宿。国際理解や英語力アップ、キャリア教育に主眼を置いている。締めとして、東成

瀬村小学校の玄関正面の壁には「子どもの夢の木」と題し全児童の将来の夢を書いた夢の木が掲示され、まるで桜の原木のようである。そして児童・生徒の学力を毎年全国で上位にランクさせるなかでも教職員の時間外勤務が殆ど無いという話には驚きました。毎年、東成瀬村には国内外から年間に数百人が教育視察に訪れているようです、ほんとうに教育の手本と思います。天城町の教育委員会においても参考にして頂きたいと思えます。



子どもたちの将来の夢を書いた「夢の木」

令和5年度 徳之島三カ町議会議員大会



令和6年2月13日(火)、徳之島町生涯学習センターにおいて徳之島三カ町議会議員大会が開催されました。

この大会は例年5月に開催される郡議員大会に向けての提出議題を決める事が重要な目的であり、毎年、徳之島3町持ち回りで議題を提出し決定しています。今年度は、天城町議会より「高潮等災害に

強い徳之島子宝空港ターミナルビル建替について」を議題として、天城町建設経済産業常任委員長の喜入 伊佐男議員が提案理由の説明を行いました。大会では禧久県議や寿県議もご列席頂き、貴重な御指導・助言を賜りました。



～提案された議題の主な要旨は以下のとおり～

徳之島に初めて旅客用飛行場が設置されたのは、昭和36年11月15日、東亜航空(株)が1,080メートルの滑走路を整備し、翌37年2月23日ヘロン機が就航しました。

それから、YS-11型機が昭和40年6月10日就航。そして昭和45年10月東亜航空(株)から県に承継され、昭和48年2月27日、第三種空港に指定されました。

昭和49年からジェット化工事に着手、5年がかりで約40億円を投入して、幅45メートル、2,000メートルの滑走路と幅150メートル、2,120メートルの着陸帯・航空灯火などが整備されて文字通り奄美の空の玄関にふさわしい近代的な空港が誕生しました。

時は、昭和55年7月13日待望のジェット機(DC-9)が就航、この日の開港式には、鎌田県知事は勿論、国土庁(当時)の園田清充長官、運輸省樽橋進政務次官、地元選出の保岡興治国会議員そして、東亜国内航空(株)田中勇社長など関係者約400名が参加して盛大な開港式が行われました。ジェット一番機を一目見ようと空港には、約6,000人の島民が詰めかけて開港を祝い、今日に至っています。

昭和49年7月に貨物用ターミナルビルが、昭和55年7月に空港ターミナルビルが落成、それぞれ47年、41年が経過致しました。平成18年に旅客ターミナルビルの改修工事が行われましたが、その後も幾たびの台風被害を受けており、近年では平成24年9月の台風17号の高潮被害で空港ターミナルビルと貨物ターミナルビル共に浸水し、半日間の空港閉鎖、手荷物受取所ターンテーブルが被害を受けました。

そのような中であって、平成30年7月より奄美大島―徳之島―沖永良部―沖縄の島々をつなぐ「奄美群島アイランドホッピングルート」が開設され、多くの観光客が来島し、徳之島から沖縄までの利便性向上もはかられたところでもあります。それにあわせ、繁忙期などは、乗降口ピー共に狭く大変混雑している状況にあります。更に令和3年7月には、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産登録され、今後さらなる観光客及び帰省客の増加が期待されます。空港利用客の利便はもとより、安全・快適性の向上を図る必要があります。

このような観点から徳之島の空の玄関口である、徳之島子宝空港の旅客ターミナルビル、貨物ターミナルビルを含む駐車場等の嵩上げを行い、老朽化した徳之島空港ターミナルビル等の建替についてここに強く要望致します。

【令和5年12月議会】提案された議案等の議決結果

		件 名	議決結果
12 月 議 会	条 例	天城町印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 コンビニ等のマルチコピー機で印鑑証明書の交付を受けることができるよう決めた。	
		天城町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 令和5年人事院勧告による国家公務員の給与改定状況等を勘案し、職員の月例給及び期末手当ならびに勤勉手当の規程の改定を決めた。	
		天城町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
		内容 令和5年度人事院勧告による職員給料表の改定に伴い、会計年度任用職員の給料表の改定を決めた。	
		天城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
	内容 地方税法の法規定の新設により、天城町国民健康保険税条例の一部改正を決めた。		
	その他	奄美群島広域事務組合理約の変更について	原案可決
		内容 移転に伴い組合の事務所の位置について、奄美群島広域事務組合理約の変更を決めた。	
	令和5年度 補正予算	令和5年度天城町一般会計予算補正(第3号)について	原案可決
		内容 各種事業費見直しにより1億4千305万円を追加し、総額を75億876万8千円とした。	
		令和5年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正(第3号)について	原案可決
		内容 県支出金等7千611万8千円を増額し、総額を11億346万8千円とした。	
		令和5年度天城町介護保険事業特別会計予算補正(第3号)について	原案可決
		内容 基金積立金等135万8千円を増額し、総額を9億1千412万7千円とした。	
		令和5年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算補正(第2号)について	原案可決
		内容 令和5年度人事院勧告に伴い組み替えを行い総額はそれぞれ増減なく7千411万円とした。	
	陳情 15	令和5年度天城町水道事業会計補正予算(第3号)について	原案可決
		内容 営業費用の修繕費38万7千円の増額、人事院勧告に伴う職員給与費等96万5千円の増額、賃借料135万2千円を減額、建設改良費の旅費8万1千円の増額、消耗品費78万4千円の減額、基幹改良工事請負費70万3千円の増額を決めた。	
	議会在提出 した案件	天城町商工会商工会館建設に係る要望書について	継続審査
		(継続審査の理由) 今定例会中に審査の結果を出すに至らなかったため。	
		天城町議会議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会の設置について	原案可決
		内容 人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢、議員のなり手不足の現状など、その後の議員定数をめぐる状況を勘案し、適正な議員定数や議員報酬等について検討を行うため、特別委員会を設置しその調査・研究・論議をするために設置した。	
		建設経済産業常任委員会の閉会中の継続審査について(天城町商工会商工会館建設に係る審査)	可 決
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決	
	各常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決	
	追加提案 された条例	山田長満天城町公衆用道路整理基金条例の制定について	原案可決
内容 山田長満氏の意向に沿う形で、町内公衆用道路での未登記等による課題のある道路を整理する事を目的として基金条例を制定を決めた。			
山田長満世界に羽ばたく岡小っ子基金条例の制定について		原案可決	
内容 山田長満氏より頂いた御寄附を世界雄飛と島担う国際的感覚を身につけ、未来を担う子どもたちの教育振興の充実を図るため、基金条例の制定を決めた。			
山田長満世界に飛び立つ北中の翼基金条例の制定について		原案可決	
内容 山田長満氏より頂いた御寄附を世界雄飛と島担う国際的感覚を身につけ、未来を担う子どもたちの教育振興の充実を図るため、基金条例の制定を決めた。			
令和5年度天城町一般会計予算補正(第4号)について		原案可決	
内容 山田長満氏よりの寄附及び非課税世帯への7万円支給事業に伴い2億4千9百25万6千円を追加し総額を77億5千802万4千円に決めた。			

令和5年 町民と議会と語る会

令和5年11月27日（月）、天城町役場4階「ユイの里ホール」において令和5年町民と議会と語る会が開催されました。

この語る会は町民の皆様が日頃お考えになっていること、困っていること、疑問などについて意見を聴取し、議会活動に反映させることを目的として実施しています。



◆ 編集後記 ◆

去る12月の第4回天城町定例議会で町執行部と議会側で激しい論戦が行なわれました。しかし、その考え方に差異があっても両者の目標は一つであり「町民の限らない飛躍」という目標の追求に有ります。

議会では、畜産農家の厳しい経営環境に対する支援策として、子牛1頭あたり1万円を町費で畜産農家に支給、また、価格高騰重点支援給付金として1世帯あたり7万円を国費で非課税世帯に支給する予算が成立いたしました。

国は物価高騰に伴う支援策として、令和6年度に所得税と住民税のある国民の所得税等を減額することを発表しております、朗報ではありますが、今後の防衛費や異次元の少子化対策の財源確保で増税が懸念されます。そして、所得税等の減額については赤字国債が予定財源ということで猶更であります。

今回の議会では、天城町議会議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会が設置され、議員定数及び報酬等についての調査・研究・論議を進めていくことになりました。また、町民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。また、11月28日の「議員と語る会」等、令和5年中の天城町議会活動に町民の皆様にご多大なるご協力を頂き本当にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。令和6年が町民の皆様お一人おひとりに幸多き年となりますことを願い、編集後記といたします。

議会だより編集委員

吉村 元光